

平成 26 年度(2014 年度)事業報告書

事業の概要

主な事業として、倉敷市と岡山市の屋根貸し事業に応募、児島市民交流センターと承芳ふれあいひろばへ市民共同発電所を設置しました。これで合計 8 基、141 kW の発電所を所有することになりました。2015 年 7 月には太陽光発電買取価格のプレミアム期間が終わりますが、日射量の多い県南地域ではまだまだ普及させていく必要があり、採算面を考えながら拡大が可能か検討したいと考えています。

普及啓発事業としては県内の小学校での出前授業を 11 校で実施（こどもエコライフチャレンジの場合は 1 校で 2 回なので自然エネルギーキャラバンと合わせて計 18 回）、環境イベントへの出展を 8 回、その他、新エネサポートコール、地域新エネ導入推進事業などを実施しました。具体的な事業は下記の通りです。

1. 調査研究活動

2014. 10. 24 南あわじバイナリー発電を見学

2. 講演会事業

2014. 05. 18 講演会「日本経済と原発・再エネ・節電所」朴勝俊氏

3. 倉敷市こどもエコライフチャレンジ事業

2014. 07. 01	前半	倉敷市緑丘小学校	38 名	2014. 10. 06	後半
2014. 07. 02	前半	倉敷市東小学校	75 名	2014. 09. 30	後半
2014. 07. 03	前半	倉敷市本荘小学校	29 名	2014. 10. 02	後半
2014. 07. 04	前半	穂井田小学校	28 名	2014. 10. 10	後半
2014. 07. 08	前半	倉敷市長尾小学校	140 名	2014. 10. 03	後半
2014. 07. 10	前半	倉敷市赤崎小学校	74 名	2014. 10. 09	後半
2014. 12. 12	前半	倉敷市玉島小学校	82 名	2015. 02. 06	後半
2014. 12. 18		倉敷市水島小学校	22 名(自然エネルギー体験キャラバン)		

4. 自然エネルギー体験キャラバン

2014. 09. 16 第 1 回 自然エネルギー体験キャラバン 瀬戸内市邑久小学校 116 名
2014. 10. 08 第 2 回 自然エネルギー体験キャラバン 瀬戸内市邑久小学校 116 名

5. その他環境教育・各種イベントに出展・活動紹介

2014. 06. 07 「ストップ温暖化くらしき」出展（倉敷市）
2014. 07. 20 第 12 回環境フォーラム in 船穂
2014. 08. 26 なるほどエネルギー体験・赤磐市山陽浄化センター
2014. 09. 27 コープおかやま主催イベントに出展（コンベックス岡山）

- 2014. 10. 19 玉野くるりんくるくる省資源・省エネルギー展（深山公園）出展
- 2014. 10. 24 市民共同発電所全国フォーラム（金沢市）分科会で活動紹介
- 2014. 11. 01 「平井まつり（岡山市）」へ出展
- 2014. 11. 09 「児島マルシェ」に出展（児島市民交流センター）
- 2014. 11. 28 「市民共同発電所づくりおかやまフォーラム」で活動紹介
- 2015. 02. 11 環境教育ミーティングに出展
- 2015. 02. 16 三菱総研事業大阪セミナー・ポスターセッションに参加（大阪市）
- 2015. 03. 28 岡山県生涯学習センターサイピアで出前講座実施

6. 岡山市市民共同発電事業

- 2014. 07. 03 群馬県沼田市から市民共同発電所の取り組み視察
- 2014. 09. 24 自然エネルギー体験キャラバン 岡山市建部小学校 5年生 17名
- 2014. 10. 10 島根の市民団体による市民共同発電所の見学対応
- 2014. 11. 16 岡山市一宮「わくわくひろば」に出展
- 2015. 01. 06 子ども劇場笠岡センターから市民共同発電事業のヒアリング
- 2015. 01. 17 自然エネルギー学校・せんしゅう（大阪）が建部おひさま発電所を見学、意見交流
- 2015. 03. 29 岡山市承芳おひさま発電所完成・点灯式

7. にしあわくらおひさま発電所事業

- 2014. 05. 13 春のあわくら温泉まつり
- 2014. 11. 13 省エネ授業「コンセントの向こう側」実施 西栗倉小学校 5・6年生 19名

8. 児島おひさま発電所事業

- 2014. 12. 17 市民共同発電所出資説明会 児島市民交流センター
- 2014. 12. 21 市民共同発電所出資説明会 倉敷市環境交流スクエア
- 2015. 02. 07 「児島おひさま発電所の完成を祝う会」

9. 岡山県新エネサポートコール事業

県民からのエネルギー相談を行った、相談件数 39 件（昨年 43 件）

10. 岡山県地域新エネルギー導入推進事業

- 2014. 09. 03 岡山県地域新エネルギー導入推進協議会
- 2015. 02. 03 第2回地域新エネルギー導入推進協議会

11. 自然エネルギー機器普及事業

ペレットを 524 袋販売（昨年度は 530 袋）、ストーブ販売事業から撤退で縮小方向。

12. 自治体・その他への企画提案関連

- かんきょうひろば運営委員会 出席 計 8 回
- 2014. 05. 27 エコパートナーシップ交流会総会

- 2014. 06. 10 中国地域温暖化・エネルギー対策推進会議（広島市）
- 2014. 08. 08 ボランティアマッチング会参加
- 2014. 08. 17 岡山市北区区づくり推進事業審査会出席
- 2014. 08. 24 環境省副大臣との車座トーク
- 2014. 09. 14 ボランティアマッチング会参加
- 2014. 10. 15 岡山県再生可能エネルギー等 導入推進基金事業評価委員会出席
- 2014. 10. 22 備前県民局・県民の意見を聞く会 出席
- 2015. 02. 13 岡山県地球温暖化防止プロジェクト推進会議出席
- 2015. 02. 18 岡山県再生可能エネルギー等 導入推進基金事業評価委員会出席
- 2015. 03. 08 岡山市区づくり推進事業審査会出席

1 3. 広報及び会員の状況

- ・エネミラ通信の発行 43号（4月）、44号（8月）、45号（11月）、46号（1月）
- ・HPのサーバーを変更 <http://enemira.sakura.ne.jp/enemira/>
（岡山ビジネス学院が授業の一環としてリニューアルと今後の更新をしていただきます。）
- ・会員数 正会員が減少傾向

2014年度末	正会員（個人）138名	正会員（団体）0名	賛同会員（団体）2名
（2013年度末）	正会員（個人）144名	正会員（団体）0名	賛同会員（団体）2名

1 4. 総会・理事会開催

第12回通常総会 5/18

第1回 5/18	第2回 6/11	第3回 7/9	第4回 7/29	第5回 9/3
第6回 10/8	第7回 11/5	第8回 12/3	第9回 1/7	第10回 3/4
第11回 4/1	第12回 4/24			

1 5. 各種会議

- ・エネミラミーティング 12/23
- ・環境教育ミーティング 10回、その他事業の打合せ多数

1 6. 寄付金状況

- ・一般寄付 302,874 円
- ・エコポイント 66,619 円
- ・あいおいニッセイ同和損害保険株式会社岡山支店 127,005 円
- ・おひさま基金 1,090,972 円
- ・い・ろ・は・す“地元の水”応援プロジェクト寄付 628,362 円

合計 2,215,832 円

1 7 主な事業の成果と課題

① 市民共同発電事業

今年度は2基の市民共同発電所を設置しました。倉敷市児島市民交流センターのケースでは、事業費

のうちの 750 万円を初めてトランスバリュー信託の市民ファンドで資金調達し、28 名の方が協力してくださいました。直接、エネミラが募集できないもどかしさがありましたが、締め切りまでには目標を超える申し込みがありました。

岡山市紙工の承芳ふれあい広場への設置では、「宇甘西活性化推進協議会」の会長さんをはじめとして地域の方がご協力くださり、温かい雰囲気の中で点灯式を開催することができました。

② 環境教育

環境出前授業として主に小学 5・6 年生を対象に小学校へ約 18 回出向きました。地球温暖化、特にエネルギー問題について学習してもらいました。思っていた以上に深刻だということに気づいてもらえたようです。

倉敷市のこどもエコライフチャレンジでは、省エネの実践に重きを置いています。夏休・冬休みにエコライフノートを使って実際に小学生にもできる省エネを実践してもらい、休み明けにもう一度まとめの授業をすることで、より一層学習が深まっていると思われます。

自然エネルギー体験キャラバンでは 6 つのコーナーを体験することで、身近に自然エネルギーに触れ、楽しみながら学習をしてもらえたと思います。出向いたどの学校からもよかったとの評価をいただきました。

これからのキーワードは自然エネルギーの拡大ですが、これらの授業では年間 600 人余りにしか伝えられていないのが現状です。点から線、面への広がりがほしいところですが、これにはスタッフがわずか十数人という慢性的な問題があります。本年度はビーマックスの学生さんの協力をいただきましたが、まだまだ解決にはほど遠い状態です。

③ 新エネサポートコール

県の委託事業として実施。2013 年度から電話相談だけでなく、イベントやセミナー等の機会にも出張サポートコールを行ってきました。

太陽光発電や小水力発電についての不安等は多く持たれていると感じていますが、サポートコールの存在があまり知られておらず、期待に応えきれてないのが実情。引き続き、広報活動が重要となります。

④ 地域新エネルギー導入推進事業

3 年間続けてきた「低炭素の地域づくり戦略会議」を引き継ぐ形で、県の委託事業として実施しました。県、複数の自治体、NPO 法人、地域協議会等が地域・市民参加型の発電所づくりに向けて最新情報や課題の共有、各地の取り組み紹介などを行いました。2015 年度もテーマを拡げて実施する予定です。